

## 図書館車『とよ』の名称について

豊中市立図書館の移動図書館車の名称を「とよ」（豊）と名づけ「とよ」一号車、「とよ」二号車が市内を巡回して、市民の「読書による教養」の向上をはかることになった。

「とよ」は「とよなか」の「とよ」である。辞書によると「とよ」とは、じゅうぶんにあること。ゆたかなこと、五穀のみのがよいこと、接頭語として称美の意をあらわす。

「豊御酒」「豊氏人」「秋津島」などあり、また漢字としての豊は礼器の一種であって、盛物が多く満ちたるをかたどる。転じてユタカ、盛ナリ、多シ等の義、つまり豊は多大盈足の義で、財多く徳大なることをいう、と記されている。

図書館車「とよ」がゆたかな文化と知識を乗せて緑の都「とよなか」の各所にわたりの音も軽ろやかに、スマートな姿をあらわせば、市民の とよ……もす歓びの聲が聞えてくるようである。

豊中市立図書館に図書資料が年とともに満ち足りて、市民の生活文化の向上に貢献することにより、わが豊中市が朝日の豊榮登とよさかひのぼりに登るように発展してゆくことをこいねがって、図書館車に「とよ」と命名することにしたのである。

豊中市立図書館初代館長  
豊中市教育委員会教育長

中 尾 儀 夫 記